



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 086-246-0309
 平成28年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	33,311	1.8	3,505	△4.8	3,757	△2.5	2,342	2.8
28年3月期第2四半期	32,716	10.2	3,682	△2.6	3,852	1.6	2,279	4.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 2,344百万円 (2.9%) 28年3月期第2四半期 2,277百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	105.44	—
28年3月期第2四半期	102.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	54,477	80.5	43,874	80.5		
28年3月期	53,262	79.3	42,263	79.3		

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 43,874百万円 28年3月期 42,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	29.00	—	33.00	62.00
29年3月期	—	31.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,394	3.5	7,922	2.3	8,200	3.2	4,655	5.8	209.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	22,777,370 株	28年3月期	22,777,370 株
29年3月期2Q	563,618 株	28年3月期	563,544 株
29年3月期2Q	22,213,785 株	28年3月期2Q	22,214,121 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報 「参考資料」	11
(1) 仕入実績	11
(2) 販売実績	11
(3) 種類別販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き高い雇用水準を維持して推移したこと及び物価上昇率の低下による実質所得の増加により、個人消費は持ち直しつつある一方で、円高や新興国経済の減速による企業収益の悪化を受け、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、人手不足に起因する労働力の確保や労務費上昇リスクの増大が懸念され、また、先行き不安による消費者の節約志向が根付くなど、個人消費の本格的な回復には時間を要すると見込まれ、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、好立地への計画的な出店を実施するとともに、価格対比の品質にこだわった営業施策を踏襲し、業態の魅力を上げるメニュー開発や教育研修制度の充実、人員体制の整備を重点課題として取り組むことにより、既存店舗の営業力向上を図るとともに、顧客満足度の向上に注力し、中長期での安定成長のための基礎づくりに取り組んでまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店1店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営店1店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店11店舗、神戸元町ドリア直営店4店舗、サンマルクカフェ直営店13店舗、倉式珈琲店直営店5店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店35店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店815店舗、フランチャイズ店61店舗、合計876店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高333億11百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益37億57百万円（同2.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益23億42百万円（同2.8%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は184億10百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は19億44百万円（同13.4%減）となりました。

喫茶事業売上高は149億円（前年同期比4.9%増）、営業利益は22億12百万円（同8.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は544億77百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億15百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は142億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億3百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が10億19百万円増加したこと及び売掛金が4億8百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は401億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億11百万円の増加となりました。これは主に事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が4億13百万円増加したこと及び非連結子会社への貸付等により、投資その他の資産のその他が1億17百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は69億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億31百万円の減少となりました。これは主に買掛金が2億38百万円減少したこと及び未払金が1億82百万円、未払法人税等が4億40百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は36億54百万円となり前連結会計年度末と比較して4億35百万円の増加となりました。これは主に店舗設備の割賦購入による長期未払金が3億3百万円、直営店出店に伴う資産除去債務が1億27百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して16億11百万円増加し、438億74百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は36億74百万円となり、この主なものは、税金等調整前四半期純利益36億40百万円の獲得、減価償却費16億77百万円の発生及び法人税等の支払が17億95百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては18億10百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出16億74百万円、海外における業態実験のための非連結子会社への貸付けによる支出90百万円を行った一方で、投資有価証券の売却及び償還による収入が1億42百万円発生したこと等によるものであります。財務活動におきましては8億44百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払7億36百万円の資金支出を行ったこと及び割賦債務の返済による支出が66百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して10億19百万円増加し、104億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

個人消費が低迷していること及び外食業界を取り巻く厳しい経営環境を背景として既存店売上の動向がやや弱含み、当第2四半期連結累計期間の売上高、経常利益ともに当初計画を若干下回る水準で推移しております。下半期におきましては、各業態において新メニュー投入などの付加価値向上施策や店舗サービスレベルの維持向上を目的とした体制の強化を引き続き推進していく予定であります。上半期の当初計画と実績のギャップを勘案し、平成28年5月12日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	69,961	8,435	8,500	4,824	217.16
今回修正予想（B）	68,394	7,922	8,200	4,655	209.55
増減額（B－A）	△1,567	△513	△300	△169	－
増減率（％）	△2.2	△6.1	△3.5	△3.5	－
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	66,056	7,745	7,942	4,401	198.15

なお、セグメント別の業績予想につきましては、次のとおりであります

レストラン事業におきましては、売上高376億34百万円（前期比1.4%増）、営業利益43億59百万円（同3.6%減）を見込んでおります。

喫茶事業におきましては、売上高307億60百万円（前期比6.3%増）、営業利益48億40百万円（同10.2%増）を見込んでおります。

なお、全社（調整額）は、営業損失12億77百万円（前期営業損失11億65百万円）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,404,073	10,423,273
売掛金	3,282,954	2,874,201
商品	150	116
原材料及び貯蔵品	283,105	304,927
その他	640,452	711,567
貸倒引当金	△16,122	△15,591
流動資産合計	13,594,614	14,298,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,819,774	21,233,049
土地	3,323,790	3,328,780
その他(純額)	2,216,191	2,222,949
有形固定資産合計	26,359,756	26,784,778
無形固定資産		
その他	181,406	177,113
無形固定資産合計	181,406	177,113
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,364,202	9,336,915
その他	3,762,432	3,880,256
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	13,126,550	13,217,087
固定資産合計	39,667,714	40,178,979
資産合計	53,262,328	54,477,474
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,201,945	1,962,980
未払金	2,857,698	2,674,738
未払法人税等	1,820,246	1,380,099
引当金	62,768	188,360
資産除去債務	18,698	30,028
その他	819,059	712,308
流動負債合計	7,780,417	6,948,516
固定負債		
退職給付に係る負債	150,726	160,791
資産除去債務	2,622,201	2,750,192
その他	445,699	743,049
固定負債合計	3,218,627	3,654,032
負債合計	10,999,044	10,602,548

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,039,016	3,039,016
利益剰余金	38,729,362	40,338,480
自己株式	△1,254,538	△1,254,769
株主資本合計	42,245,019	43,853,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,265	21,019
その他の包括利益累計額合計	18,265	21,019
純資産合計	42,263,284	43,874,925
負債純資産合計	53,262,328	54,477,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	32,716,934	33,311,448
売上原価	7,167,213	7,329,527
売上総利益	25,549,720	25,981,920
販売費及び一般管理費	21,867,407	22,476,019
営業利益	3,682,313	3,505,901
営業外収益		
受取利息	4,811	4,395
受取配当金	3,710	2,912
受取賃貸料	71,870	69,898
受取補償金	150,048	216,978
その他	19,819	28,594
営業外収益合計	250,260	322,779
営業外費用		
支払賃借料	61,225	61,225
その他	19,128	10,421
営業外費用合計	80,353	71,647
経常利益	3,852,219	3,757,033
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36,536
特別利益合計	—	36,536
特別損失		
固定資産除却損	202,083	128,101
減損損失	22,097	25,312
特別損失合計	224,180	153,414
税金等調整前四半期純利益	3,628,038	3,640,155
法人税、住民税及び事業税	1,424,709	1,347,424
法人税等調整額	△76,088	△49,442
法人税等合計	1,348,621	1,297,981
四半期純利益	2,279,417	2,342,173
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,279,417	2,342,173

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	2,279,417	2,342,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,451	2,754
その他の包括利益合計	△1,451	2,754
四半期包括利益	2,277,965	2,344,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,277,965	2,344,928
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,628,038	3,640,155
減価償却費	1,642,745	1,677,294
減損損失	22,097	25,312
賞与引当金の増減額(△は減少)	111,868	125,591
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,185	10,065
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△379	△530
受取利息及び受取配当金	△8,521	△7,307
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△36,536
固定資産除却損	202,083	128,101
売上債権の増減額(△は増加)	275,114	408,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,269	△21,787
仕入債務の増減額(△は減少)	△231,546	△238,964
未払金の増減額(△は減少)	△268,168	△165,830
その他	△720,276	△77,432
小計	4,650,970	5,466,885
利息及び配当金の受取額	3,809	2,926
法人税等の支払額	△1,548,106	△1,795,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,106,673	3,674,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,728,538	△1,674,675
有形固定資産の売却による収入	31,287	809
無形固定資産の取得による支出	△32,902	△22,565
投資有価証券の取得による支出	△22	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	142,947
関係会社貸付けによる支出	△190,000	△90,000
資産除去債務の履行による支出	△49,726	△68,867
その他	△395,345	△98,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,365,248	△1,810,673
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△4,141	△231
自己株式の売却による収入	478	—
配当金の支払額	△711,805	△736,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△124,760	△41,322
割賦債務の返済による支出	—	△66,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	△840,227	△844,492
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,098,802	1,019,200
現金及び現金同等物の期首残高	10,130,293	9,404,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,031,491	10,423,273

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト		合 計	調 整 額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	18,512,128	14,204,806	32,716,934	—	32,716,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,512,128	14,204,806	32,716,934	—	32,716,934
セグメント利益	2,246,954	2,045,778	4,292,733	△610,420	3,682,313

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用610,420千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	18,410,540	14,900,907	33,311,448	—	33,311,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,410,540	14,900,907	33,311,448	—	33,311,448
セグメント利益	1,944,836	2,212,665	4,157,501	△651,600	3,505,901

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用651,600千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	4,381,140	99.9
喫茶	2,965,282	106.4
合計	7,346,422	102.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	18,410,540	99.5
喫茶	14,900,907	104.9
合計	33,311,448	101.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第2四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	17,631,012	100.3	153,140	75.7	626,387	85.8	18,410,540	99.5
喫茶	14,655,546	105.1	27,530	64.6	217,830	102.2	14,900,907	104.9
合計	32,286,559	102.4	180,671	73.7	844,217	89.5	33,311,448	101.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。